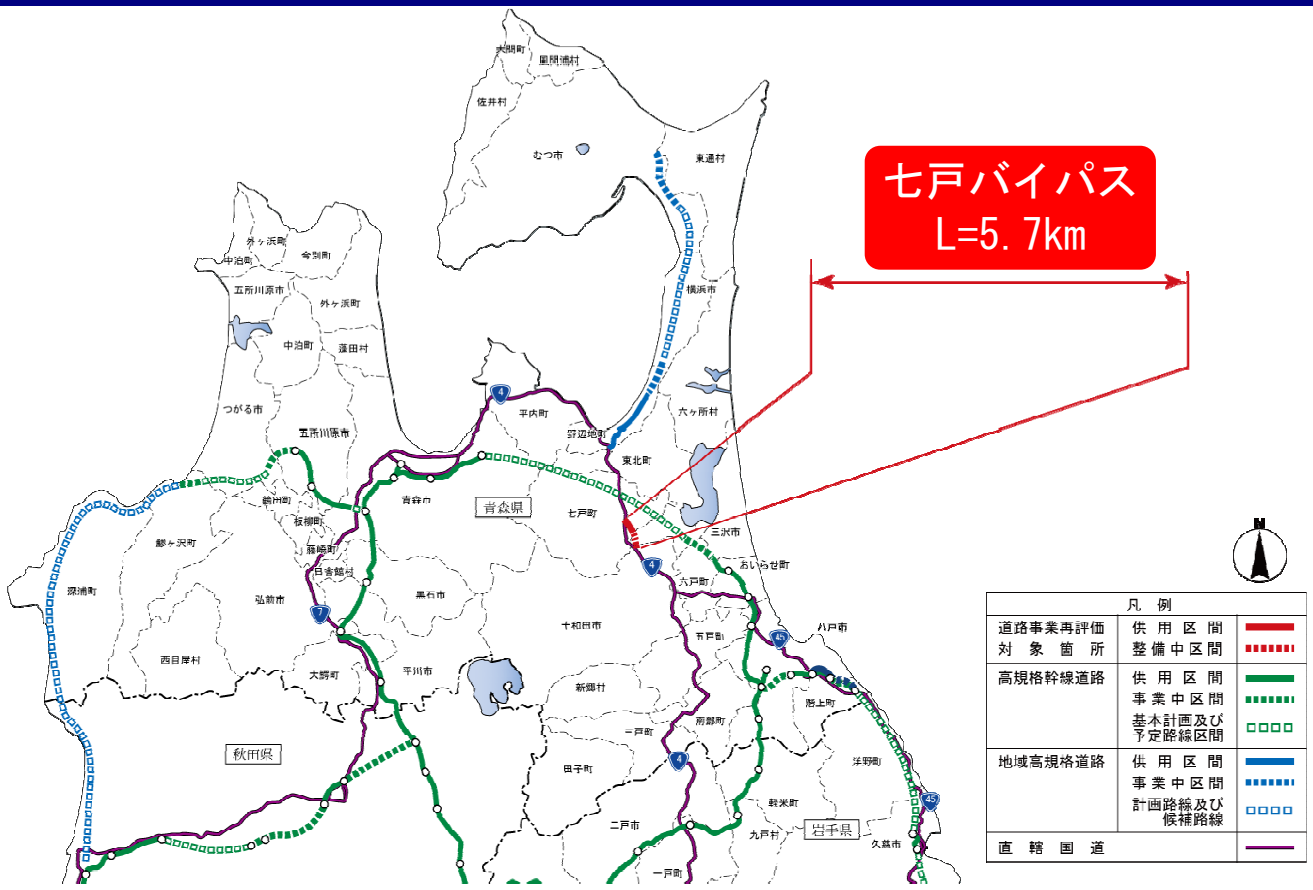
一般国道４号　七戸（しちのへ）バイパス



事　業　実　施　状　況



一般国道４号　七戸（しちのへ）バイパス

【評価要件：前回再評価後5年経過】

〇事業の目的

・隘路区間の改良による交通混雑の解消

・新幹線駅へのアクセス向上

〇延　　長　：　L＝5．7km

〇事 業 費　：(完成)94億円　(暫定)72億円

〇事 業 化　：　平成元年度

〇進 捗 率　：(完成)69%　(暫定)90%

事　業　の　投　資　効　果

〇費用便益比(B／C)

※下表の数値は、基準年(平成20年)における現在価値に換算した金額を記載

【残事業】

費用C(現在価値)	*36億円*
便益B(現在価値)	*98億円*
費用便益比　B／C	*2．8*

計画交通量(平成42年度)

・七戸バイパス＝9，700台/日　　・現道＝3，400台/日

（参考）

費用便益比（Ｂ／Ｃ）

【前回再評価時のＢ／Ｃ】

【残事業】１．９　【全　線】１．６

【今回再評価時のＢ／Ｃ】

【残事業】２．８　【全　線】１．３

（前回再評価時の計画交通量）
七戸バイパス＝９，７００台／日
現道　　＝６，５００台／日

（今回再評価時の計画交通量）
七戸バイパス＝９，７００台／日
現道　　＝３，４００台／日

対　応　方　針　（　原　案　）

○早期整備の必要性が高い。

・隘路区間の改良による交通混雑の解消

・新幹線駅へのアクセス向上

○地元自治体等からの事業促進の要望がある。

事業を継続実施